



Title	巻頭言
Author(s)	稲田, 俊明
Citation	長崎大学言語教育研究センター紀要, 2, p.[1]; 2014
Issue Date	2014-03
URL	http://hdl.handle.net/10069/34307
Right	

This document is downloaded at: 2019-04-26T00:36:55Z

巻 頭 言

言語教育研究センターは、24年4月に創設して2年経ち、今春3年目を迎えようとしています。本センターの教員の研究は、言語、文学、異文化理解、英語と初習外国語教育、第2言語習得など専門分野は多様ですが、言語教育の根底を支えている言語の基盤的・先端的研究を目指しています。また、教育面では、外国語教育の実践・企画・運営を行っています。

英語教育においては、今年度から e-learning 教材を使った自学自習を、教養教育科目を履修する学生に一律に課す試みを行いました。様々な問題点も浮上して来ました。問題点を検討して改善策を講じるために、1月に行われたFDでは、e-learning教材の3 Round CALL Systemの実績を持つ大学の専門家を招聘して、非常勤講師の先生を交えて研修会を行いました。

海外語学研修も外国語能力の向上と学習者の動機付け・意識向上に大いに役立ちます。本センターでは、短期語学研修先を新たに開拓していますが、学术交流協定を締結したモンタナ大学 (University of Montana) English Language Institute の語学研修プログラムを開始しました。本年夏の研修プログラムには、長崎大学の学生27名が参加し、極めて高い評価を得ました。

授業とは別に、気軽に英語が話せる場として本センターが提供している English Café にも学生の参加が定着しつつあり、参加者の中からナガサキ・ユース代表団第2期生のメンバーに選ばれた学生も出ました。明確な目的を持って学んでいる学生の向上心こそが外国語能力の増進の源であると強く感じさせられました。

このような言語教育研究センターの取組みを通して、学生が能力を伸ばし、広い世界の至るところで活躍する有意な社会人になってくれることを願っています。

最後に、本センターを運営するにあたり、さまざまな形で支援や協力をいただいている方々、また事務処理一切をいつも快く引き受けていただいている本村奈美さんに、感謝申し上げます。

2014年3月

長崎大学言語教育研究センター長
稲田俊明